



環境方針書

東洋紡績(株) 総合研究所 環境方針

環境理念

我々は、人と地球にやさしい技術をとおして、社会に貢献し、地球環境の保全を図り、次の時代に、住みよい地球と豊かな社会を残すように努めます。

基本方針

東洋紡績(株)総合研究所は、さまざまな人間活動を支えている日本最大琵琶湖のほとりに立地し、地球環境と密接に関わりながら豊かな生活環境を拓くための研究活動を進めています。我々にはこの恵まれた自然環境を積極的に保全する使命が与えられている事を十分に認識し、以下の方針に基づき環境管理活動を推進します。

1. 環境保全活動の推進

環境関連の法規制や滋賀県、大津市の条例協定を遵守するとともに環境負荷の低減のために自主管理基準を設定し、環境保全活動を積極的に進めます。

2. 自然環境との調和

豊かな生態系を育み、人間活動を支えている琵琶湖の大切さを認識し、地域社会と積極的に関わり、環境保護活動への支援参加を行います。

3. 環境を考慮した研究開発

環境調和を指向した研究開発を積極的に推進します。

研究開発に際しては、原材料の開発から廃棄に至るまでの環境アセスメントを行い、環境負荷の小さな製品の開発に努めます。同時に、環境に調和する製品、プロセス、システムの開発に積極的に取り組みます。

4. 環境負荷の低減

研究開発活動において使用する化学物質の適切な管理と処理を行います。また、資源のリサイクルの観点から産業廃棄物の削減活動を推進します。

5. 環境啓蒙活動の展開

当研究所の全従業員が、地球の大切さを認識し、環境管理活動を積極的に実践できるように環境教育の充実を図ります。

上記の方針達成のために、経済的・技術的に可能な範囲で目標を設定し、汚染の予防を図るとともに環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスの継続的な改善を図ります。また、内部監査を実施して、目標に基づく活動と環境マネジメントシステムが有効に機能しているかを厳しくチェックします。

この環境方針は、全従業員に周知するとともに社外へも公表します。

改定日2000年4月1日

東洋紡績(株)総合研究所

鵜飼 哲雄